

日本商工会議所

電子会計実務検定 上級試験模擬問題

※答案は、My Documents(データをダウンロードする際にダウンロード先を変更した場合は変更先のフォルダ)の「日商上級試験」フォルダに保存されている答案用紙(Microsoft Word ファイル「答案.doc」、以下同じ)に入力し、必ず「上書保存」をしてください。「上書保存」をせず、ファイルに記入しただけでは、試験センターにデータは送信されません。こまめに「上書保存」してください。

※「日商上級試験」フォルダ内の「参考データ」フォルダに保存されている Excel データに行や列を追加または削除して回答することはできません。試験問題によっては、sheet が別れて資料が記されているものもありますので、しっかり確認してください。

問題 1 キャッシュ・フロー計算書の作成方法には 2 つの方法があり、選択適用が認められています。これらの 2 つの方法について、営業、投資、財務の各活動によるキャッシュ・フローの計算の異同点を簡単に説明しなさい。

問題 2 株式会社 A の第 4 期（平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）の実績会計データおよび下記予測資料に基づいて、上記「日商上級試験」フォルダの「参考データ」フォルダを参照し、保存されている Excel データ内にある、第 5 期の予算書（予測損益計算書）を完成させ、答案用紙に貼り付けなさい。なお、貼り付け方法は答案用紙の指示に従うこと。

また、この予算書について、次の各問に答えなさい。

- (1) 第 5 期の売上高は第 4 期よりもいくら増加する見込みですか。
- (2) 第 5 期の販売費及び一般管理費の合計額は第 4 期よりもいくら増加する見込みですか。
- (3) 第 5 期の営業外費用が第 4 期よりも増加する要因はなんですか。
- (4) 第 5 期の販売費及び一般管理費の増加要因とその金額を列挙しなさい。
- (5) 第 5 期の販売費及び一般管理費の減少要因とその金額を列挙しなさい。
- (6) 第 5 期の予算について、その実現可能性を予想しなさい。(80 字以内)

<資料>

1. 第5期の予測当期純利益が第4期と同額となるように売上高を調整すること。
2. 売上高総利益率は、第4期と同様とする。
3. 法人税等は、予測税引前当期純利益の40%相当額とする。
4. 当社は、消費税について税抜経理方式を採用している。
5. 人件費について
 - (1) 第5期は、従業員1名の退職が予定されており、退職金2,900,000円を支給する予定である。また、これに伴い従業員1名を新たに採用する計画である。
 - (2) 上記(1)により、増減すると見込まれる給料手当および法定福利費は次のとおりである。

勘定科目	退職者分(減少)	新規採用者分(増加)
給料手当	1,800,000円	1,300,000円
法定福利費	200,000円	150,000円

6. 設備の購入と資金の借入れについて

第5期は、次の設備を購入する予定であり、購入資金については全額、銀行からの借入れを予定している。

名称	取得価格 (消費税込み)	取得予定時期
デジタル電話設備	6,510,000円	平成21年10月

第5期の減価償却費については、次のとおりである。

区 分	当期減価償却見込額
既存設備等分	1,556,000円
新規取得分	1,812,000円

第5期の借入利息については、次のとおりである。

区 分	年間利息見込額
既存借入金分	426,000円
新規借入金分	178,000円

7. その他の事項

- (1) 第4期に行った海外社員旅行は、本年は行わない予定である。
- (2) 第5期は、マスコミ等到大々的に広告宣伝を行う予定である。このための予算9,450,000円(消費税込み)を見込むこと。
- (3) 第4期に行った海外視察旅行は、本年はないものとする。
- (4) 第5期の貸倒引当金繰入額は第4期と同額とし、貸倒引当金戻入額は第4期の繰入額と同額とする。
- (5) 第4期の損益のうち、雑損失の金額、臨時収入の金額および臨時損失の金額は、すべて臨時的なものであり、第5期は発生しないものとする。

8. 上記において、特に指定のなかった事項については考慮する必要はなく、第5期においても第4期と同額が発生するものとして計算すること。